

オープンカレッジ in 飛騨 2026



※講座内容・講師プロフィールの文章につきましては、講師の先生よりご提供いただいております。

【主催】飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会（岐阜県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村） 【協力】一般財団法人 飛騨高山大学連携センター

1 名古屋芸術大学 開催日 8/2(日) 定員25名

絵画技法を見る！

—時代と素材・日本画に見られる様々な表現—

「講義—日本画技法とその効果」

13:00~16:30

「実技—技法体験・バブリング(泡技法)で描く桜」

様々な時代に見られる日本画の表現技法は、装飾的なものから心理描写を強調するものまで、作品の方向性に合わせて使用されてきました。今回の講座で多くの技法を知ることにより、絵画鑑賞がより楽しく興味深いものになります。後半には紹介した技法の中からバブリング(泡技法)を選び、その表現を活かした桜を描きます。

※受講料の他に材料費1,000円が必要です。

長谷川 喜久(名古屋芸術大学美術領域 主任教授・日展特別会員)

1964年:岐阜県に生まれる/2005年:日展 会員賞('18東京都知事賞/'22文部科学大臣賞)/2011年:上海美術館主催 長谷川喜久展(上海美術館)/2014年:現代日本画の世界サテライト長谷川喜久展(岐阜県美術館)/2016年:建仁寺塔頭両足院 屏風奉納/2019年:瑞龍寺 塔頭 天澤院 双龍図襖 制作依頼、GORO NOGUCHI GOLDEN HIT PARADE 展企画プロデュース(美濃和紙の里会館)/2021年:長谷川喜久日本画展 感情と記憶のカタチ1991-2021(佐藤美術館)/2023年:岐阜市民栄誉賞 受賞/2025年:特別展 長谷川喜久日本画展 色—彩感情に記憶(古川美術館・分館爲三郎記念館同時開催)/ジェイアール名古屋タカシマヤ開店25周年記念展長谷川喜久日本画展-色は主張する
現在:日展特別会員、日春会会員、名古屋芸術大学美術領域主任教授

2 東京都市大学 開催日 8/22(土)

誰ひとり取り残さないSDGs時代のまちづくり

13:00~14:30 「目に見えるデザインをどう創るか？」

14:40~16:10 「サービスデザインをどう創るか？」

SDGsは2030年を目途として誰ひとり取り残さない社会を創り上げるための世界的なひとつの創造哲学です。しかしその2030年がまもなく来てしまいます。我々は、目に見える製品やインフラのデザインだけでなく、それをカバーする目に見えないサービスデザインも持続可能な誰ひとり取り残さぬものにしなさいといけません。参加の皆様と共に、改めて様々なデザインをどう創ればベストなのか、考える時間に致します。

西山 敏樹(東京都市大学都市生活学部 教授)

1976年東京生まれ。現在、東京都市大学都市生活学部教授。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士(政策・メディア)。同大学特任准教授を経て現職。SDGsもベースとしたユニバーサルデザインやエコデザインに関する著作や論文が多数。公共交通分野にも精通しバス業界の活性化方策に詳しい数少ない国際的研究者のひとり、マスコミでの専門家解説も多い。

会場 / 飛騨・世界生活文化センター、他
(岐阜県高山市千島町900-1)

受講料 / 1講座 2,000円(15を除く)

※受講料の他に課外講座費等が必要な講座があります。

飛騨地域の中学生・高校生は無料で受講いただけます
(課外講座費等は必要となります)。
郷土学習・探究学習にもおすすめです。

申込方法 ①・②どちらかの方法でお申込みください。

①右記QRコードを読み取り、応募フォームより

②下記申込書を飛騨センターへ提出[郵送(切手貼付)][窓口]



電話・FAXでのお申込みは受付いたしかねます。

※受講者の方には、各講座とも開催の2週間前頃に「受講案内」を郵送・メール送信いたします。

その他注意事項

- 申込締切前でも申込多数の講座は締め切らせていただきます。 ●複数講座の受講による受講料等の割引はありません。
- 受講料等は各講座とも開始前に現金で徴収いたします。 ●お支払いいただいた受講料等は原則として返還いたしかねます。
- 天候・講師の都合などによりリモート講座に変更、または日時・講座内容の変更、中止となる場合もあります。
- ご記入・ご入力いただいた個人情報は「オープンカレッジ in 飛騨」の運営のみに使用いたします。

【お問い合わせ】

飛騨・世界生活文化センター
指定管理者 飛騨コンソーシアム

〒506-0032 岐阜県高山市千島町900-1
休館日/毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)
TEL.0577-37-6111 www.hida-center.jp

飛騨センター

検索 🔍



3 文教大学

開催日
8/22(土)

「五感で読み解く“旅”の魅力」

— 景観・音・におい・触感・味覚から地域を理解する方法

13:00~14:30 「人は『五感』で旅をする」

14:40~16:10 「五感で綴る飛騨・高山の物語とは？」

私たちが日常的に使っている“五感”は、実は地域を理解するための精密なセンサーです。景観の見え方、まちの音の響き方、においが呼び起こす記憶、素材の触感、食の味わい—これらはすべて、地域の環境・文化・歴史が生み出す“物語”です。五感を通して地域を見ると、まちはただの風景ではなく、物語を持つ存在として立ち上がります。本講座は、その“読み解き方”を理論と科学に基づいて学びます。

海津 ゆりえ(文教大学国際学部 教授)

文教大学国際学部教授。専門はエコツーリズム、地域の宝探し。エコツーリズムや観光に関わる自治体・国の委員を歴任し、国内外のプロジェクトに携わる。エコツーリズムによる災害復興、地域の宝を五感で表す手法の開発などに取り組む。主たるフィールドは東北、奄美、沖縄、ガラパゴス諸島など。

4 東京大学

開催日
8/23(日)

重力波観測とマルチメッセンジャー天文学

13:00~14:30 「重力波観測とマルチメッセンジャー天文学」

14:40~16:10 「KAGRAによる重力波観測」

我々の宇宙の謎は少しずつ解明されつつある一方、未解決の課題も数多く残されています。本講義では電磁波観測によって明らかになった宇宙の姿に加えて、重力波観測やそれらを組み合わせたマルチメッセンジャー天文学により広がった宇宙像について紹介します。また、飛騨市神岡町に建設された重力波望遠鏡KAGRAに焦点を当て、その仕組みや特徴、世界の中のKAGRAの役割、そして今後の宇宙観測の展望について解説します。

牛場 崇文(東京大学宇宙線研究所 准教授)

重力波望遠鏡KAGRAの建設段階から参加し、特にKAGRAで特徴的な低温サファイア鏡の設計、製作、インストール、運用を行ってきました。KAGRAの建設完了後はKAGRAの運転と感度向上に注力しており、2024年からはコミッションリーダーとして、KAGRAの感度向上と安定運転を主導しています。

5 富山大学

開催日
8/29(土)

和漢医薬学を学ぶ

13:00~14:30「和漢薬を科学する」

14:40~16:10「身近な病気と和漢薬」

伝統医学は人類が永きにわたり疾病の予防や治療にあたってきた経験知の集積です。富山大学和漢医薬学総合研究所では、現代の先端科学技術を駆使して現代における様々な疾病の発症や予防、治療に関わる研究や、和漢薬をはじめとする伝統医学や伝統薬物について研究しています。本講座では健康な生活をおくるため、漢方薬をはじめとする和漢薬や身近な病気に関する医学・薬学についてわかりやすく解説します。

早川 芳弘(富山大学和漢医薬学総合研究所 教授)

1996年富山医科薬科大学(現:富山大学)薬学部卒業。2001年同大学院薬学系研究科博士後期課程修了(薬学博士)。2001年からピーターマッカラムがんセンター(オーストラリア)上級研究員、2007年からメルク万有製薬つくば研究所リサーチフェロー、2009年より東京大学大学院薬学系研究科特任准教授、2012年富山大学和漢医薬学総合研究所准教授、2017年から同教授。

6 愛知大学



開催日
9/5(土)

▲研究室ホームページ

健康心理学で創る、心と体の健康習慣

—「座り過ぎ」の解消とストレスマネジメント—

13:00~14:30「健康心理学から考える健康まちづくり政策」

14:40~16:10「今日から活かせるストレスマネジメント」

日本人の「座り過ぎ」が心身にもたらす悪影響と、自発的に身体を動かしたくなる「健康まちづくり政策」のヒントを健康心理学の視点から解説します。さらに日常のストレスへの対処法として、スポーツ心理学に基づくリラクゼーション技法を紹介。講座内では、唾液アミラーゼ測定器やバイオフィードバック機材を用いたストレス可視化のデモンストレーションを交えながら、心身を整えるメンタルトレーニングの基礎を体験的に学びます。

尼崎 光洋(愛知大学地域政策学部 教授)

愛知大学地域政策学部教授、博士(学術)。健康・スポーツ心理学を専門とし、行動変容理論を用いた健康づくりの研究に取り組む。大学では体育研究室長やハンドボール部、水泳部の部長として学生を支える傍ら、地域の招待サッカー大会運営を通じて地域スポーツ振興に貢献。心理学的アプローチから人々の行動を分析し、健康増進への貢献を目指しています。

7 東京藝術大学

開催日
9/6(日)

楽器(トランペット)は何故鳴る? プロのオーケストラって?

13:00~14:30「トランペットは、楽し!」

14:40~16:10「音楽は、楽し!」

トランペットが鳴る仕組みを解説するとともに、東京藝術大学とはどのような大学なのか、また「東大に入るより難しい」といわれる理由についてもお話しします。さらに、「吹奏楽はなぜ盛り上がらないのか」を考え、音楽の楽しさやプロオーケストラに入るために必要な準備について、私のオーケストラ人生28年を振り返りながら、オーケストラごとの違いや指揮者とのエピソード、さらには舞台裏で起きた出来事など、普段は聞くことのできない話を交えてご紹介します。

栃本 浩規(東京藝術大学音楽学部 教授)

岐阜県高山市出身。斐太高等学校卒業。名古屋芸術大学音楽学部卒業。トランペットを、和久田照彦、津堅直弘 各氏に師事。卒業後、東京フィルハーモニー交響楽団に入団。1991年、NHK交響楽団に移籍。2012年より東京藝術大学音楽学部准教授、2019年より同教授に就任。現在に至る。国立音楽大学、聖徳大学、各非常勤講師。埼玉県草加市文化協会 評議員。日本トランペット協会常任理事。飛騨高山ヴィルトゥオーゾオーケストラ顧問。Tokyo G Brass、N-crafts、各メンバー。

8 慶應義塾大学

開催日
9/12(土)

データで見る地域分析入門

—RESASで飛騨地方の特徴を発見する

13:00~14:30「データで見る飛騨地方の今」

14:40~16:10「データで考える飛騨地方のこれから」

人口減少や高齢化、産業構造の変化など、地域の現在と将来を考えるうえで、データを読み解くことはその出発点として有効です。本講座では、国が一般向けに提供している地域経済分析システム「RESAS(リーサス)」を用いて、飛騨地方の人口・産業・観光・人の流れを地図やグラフから読み取ります。RESASの基本的な使い方を紹介しながら、地域の特徴や課題を把握し、今後の地域づくりを考えるためのデータ活用の視点を学びます。※ご自身のタブレット端末やPCをご持参していただくと、体験がより実感しやすくなります。

長田 進(慶應義塾大学経済学部 教授)

専門は経済地理学・都市地理学。研究内容は日本の都市の構造変化や地域経済の活性化について。2005年より慶應義塾大学にて地理学の担当者として教鞭を取っている。高山市との繋がりとしては、2006年から学生と高山市で合宿を実施している。2014年からは高山西高校の「探究飛騨」の担当講師として、飛騨高山地域の魅力を生徒と共に研究している。

9 松本歯科大学

開催日
9/13(日)

アンチエイジングのための生活習慣

13:00~14:30「食事・運動・睡眠・ストレスの自己管理」

14:40~16:10「口腔ケアはアンチエイジングに不可欠」

アンチエイジングや健康長寿への願いは、古くから人類が抱いてきた夢です。近年の生命科学と人工知能の目覚ましい進展は、その実現を予感させます。近未来の科学に期待しつつ、本講義ではアンチエイジングの土台となる、今できる生活習慣についてお話しします。前半では、食事・運動・睡眠・ストレスの自己管理について、最近の知見を踏まえて概説し、後半では、口腔環境と加齢変化について、腸内細菌叢との関連を含め解説します。

青木 雄次(松本歯科大学病院健診センター 臨床教授)

1981年～: 信州大学医学部卒業、信州大学医学部第二内科入局/1993～1995年: ジョージタウン大学メディカルセンター留学/2003年～: 国立病院機構まつもと医療センター内科/2019年～: 松本大学大学院健康科学研究科教授/2026年～: 松本歯科大学病院臨床教授 アンチエイジングに興味を持ち、2012年から抗加齢医学会に所属しています。

10 岐阜大学

開催日
9/27(日)

医学部講義実演 血液・造血器学はじめての一步!

13:00~14:30「血液ってなんだろう」

14:40~16:10「血液がんを中心とした血液疾患について」

医学部3年生向けの血液・造血器学の講義を実演します。血液の働き、がん化のプロセスや治療について、患者さんに対して説明するときと同じように解説していく講義です。実際には1コマ70分で行っていた講義を90分の枠でゆっくりとお話し、実際の講義をわかりやすく体感していただけるような構成とします。

高橋 美裕希

(岐阜大学医学部地域共創型飛騨高山医療者教育学講座 特任准教授)

愛知医科大学を卒業後、臨床研修修了後に愛知医科大学で内科医・血液内科医として勤務。2013年3月愛知医科大学大学院博士課程(基礎医学系生化学)修了。2017年から医療者教育を専門とし、2024年3月に岐阜大学大学院医療者教育学専攻課程修了。2024年4月より現職。高山市内医療機関で一般内科診療も担当している。

11 昭和音楽大学 開催日 10/24(土)

「日本の美と表現」～伝統から読み解く所作と表現力～

13:00～14:30 「礼節と所作・音と間の世界」

14:40～16:10 「歌舞伎と飛騨の伝統」

本学ミュージカルコース「日本古典芸能」の講義より、身体表現・楽器演奏・歌唱など、表現に関わる全てのジャンルに共通し、大切な「心と所作」を日本の伝統文化から読み解いてまいります。なぜお辞儀をするのか？美しさとは？〇〇らしさを表現することで、舞台だけではなく日常生活にも役立つことが！歌舞伎や伝統芸能の成り立ちと意味を知り、飛騨の伝統の素晴らしさをあらためて実感できる内容です。

花柳 琴臣(昭和音楽大学ミュージカルコース 講師/舞踊家)

東京都出身。8歳初舞台。花柳流三世・四世宗家元花柳壽輔に師事。花柳舞踊道場にて歌舞伎舞踊の基礎を学ぶ。現在、独自の表現を追求する気鋭の芸術家として活動。2014年スコットランド・Edinburgh Festival Fringe出演。NHK につぼんの芸能、NHK 紅白歌合戦、坂東玉三郎特別舞踊公演など舞台公演やメディアに出演。岐阜県高山市、白川村、飛騨市、小中学校 伝統文化教育 特別講師。ミュージカル・オペラ・音楽劇などの演出家としても活動。

13 課外講座 東北大学 開催日 8/29(土)

★カムランド講座

定員20名

反ニュートリノ検出器カムランドによる地球と宇宙の観測

13:20～14:20 「反ニュートリノ検出器カムランドについて」(講義)

14:30～16:00 「神岡坑内カムランド見学」

「無」から始まった宇宙に物質が残っているのは何故か。我々を構成する元素はどうやって作られたのか。地球や太陽内部ではどのような活動が行われているのか。これらの疑問を解き明かすための最も有効な手段の一つがニュートリノ観測です。宇宙・天体・素粒子の様々な謎にニュートリノを用いてどのようにアプローチしているのかを紹介します。今年はカムランドが設置されている神岡坑内の見学も実施します。

14 課外講座 京都大学 開催日 10/3(土)

★飛騨天文台講座

定員20名

最新の太陽研究と天体観測体験

13:00～14:30 「飛騨天文台での最新の太陽研究」(講義)

15:00～16:30 「65cm屈折望遠鏡による天体観測実習」(施設内見学)

高山市上宝町蔵柱にある京都大学飛騨天文台では、先端的な観測装置を駆使した太陽の研究を行っています。飛騨天文台の望遠鏡や、人工衛星、さらにコンピュータシミュレーションを駆使した最新研究からわかってきた、太陽活動と地球の関係についてわかりやすく解説します。また、65cm屈折望遠鏡を用いて昼間でも見える金星などの眼視観測をします。

15 課外講座 信州大学 開催日 10/17(土)

★上高地講座

定員20名

飛騨山脈の成り立ち2026

9:30～12:30 「上高地の成り立ちと梓川の流路変遷」

13:00～16:00 「第四紀花崗岩の発見と槍穂高連峰の誕生」

平坦な上高地、流れる梓川の勾配は0.8%しかない。この梓川は1.2万年前までは飛騨に向かう急流だった。白谷山火山の噴火と山体崩壊は巨大な堰止め湖を形成し、これが埋積されて現在の上高地が誕生した。槍穂高連峰は、175万年前の巨大なカルデラ火山として誕生した。カルデラを埋めた火山灰は高温で固まって硬い岩石となって険しい岩稜を作るもととなり、地下のマグマ溜まりは急速な隆起で4km以上持ち上げられ、地表に露出する世界一、二を争う第四紀花崗岩となった。

12 岐阜協立大学 開催日 10/31(土)

岐阜県の賃金について考える

13:00～14:30 「岐阜県の賃金について考える:前半」

14:40～16:10 「岐阜県の賃金について考える:後半」

昨今、物価上昇に伴い賃金の議論も注目されるようになってきました。日本はもともと春闘の影響力への関心が強かったのですが、最近では労使交渉も変容し、最低賃金の注目度があがっており、とくに近年の引き上げ幅の大きさが注目されています。この講座では、賃金の仕組みや歴史的経緯についてお話します。また、その観点から現在の岐阜県での賃金の状況についてお話しますが、価値観や評価の内容に入り込むことはせず、論点を整理する視点で、できる限り俯瞰的にお話ししたいと思います。

竹内 治彦(岐阜協立大学経営学部 教授)

慶應義塾大学大学院社会学研究科修了、日本労働研究機構(現労働政策研究・研究機構)海外情報研究員を経て、岐阜経済大学(現岐阜協立大学)に着任。同大学キャリア支援部長、副学長等歴任し、平成31年2月～令和5年3月まで同大学学長。岐阜県や大垣市をはじめ多くの自治体の各種審議会委員を務める。専門はドイツの労使関係。

- 受講料の他に課外講座費5,000円が必要です。
- 集合場所から全員でのバス移動となります(自家用車で直接カムランドへは行けません)。
- カムランドへ立ち入るにあたり、動きやすい服装でご参加のうえ、係員の指示に従ってください。
- 11:45集合～17:10解散予定です。
- 詳細は申込締切後にご連絡いたします。

細川 佳志

(東北大学ニュートリノ科学研究センター 助教)

液体キセノンを用いた暗黒物質探索で博士号を取得後、カムランド実験やスーパーカミオカンデ実験などに参加し、15年以上 地下での宇宙素粒子研究を続けています。誰も見たことのない物理現象を自らの手で観測することを目指しています。

- 受講料の他に課外講座費3,000円が必要です。
- 集合場所から全員でのバス移動となります(自家用車で直接飛騨天文台へは行けません)。
- 階段の昇り降りを含む徒歩での移動があります。
- 11:00集合～18:00解散予定です。
- 詳細は申込締切後にご連絡いたします。

永田 伸一(京都大学大学院理学研究科 助教)

2000年に東京大学から博士(理学)の学位を取得。2003年から飛騨天文台勤務。専門分野は、飛騨天文台や、人工衛星に搭載された望遠鏡を用いた、太陽の電磁流体現象の研究。現在は、ハワイにある世界最大の太陽望遠鏡に設置する最新装置の実現に向けた活動をしています。

- 受講料は4,000円となります(1日講座のため)。
- 受講料の他に課外講座費5,000円が必要です。
- 集合場所から全員でのバス移動となります(自家用車で直接上高地へは行けません)。
- 遊歩道を長時間歩きます。
- 8:00集合～17:30解散予定です。
- 上高地に行く前に、「中部山岳国立公園奥飛騨ビジターセンター」にて、奥飛騨の成り立ちについて約1時間の講義があります。
- 詳細は申込締切後にご連絡いたします。

原山 智(信州大学理学部 特任教授)

長野県出身。高校時代から登山に親しみ、東京教育大学、京都大学大学院で地質学鉱物学を専攻。また、通商産業省工業技術院地質調査所で、中部山岳地域の槍ヶ岳、立山、乗鞍岳、上高地、松本、富山等の地質図幅を編集し、多くの研究者、教員、地学愛好家、登山者等に活用されている。現在、(一財)飛騨山脈ジオパーク推進協会副理事長。